

No.319
1998年
2月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階
電話(03)3815-3351代 Fax(03)3815-3352

●日本オペレーションズ・リサーチ学会 学生論文賞の論文募集

OR学会の発展は、将来の優秀なOR研究者およびOR実務担当者の養成いかにかかっています。その一助として、日本OR学会は、昭和58年度より、ORに対する学生の関心を高めかつ大学におけるOR関係学科間での情報交流にも役立てるため、学生会員の卒業論文、修士論文の中から、毎年優秀なものを選び、「日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞」として表彰することを実施しております。

つきましては、下記応募要領で広く学生会員から論文を募集することとなりましたので、ふるってご応募ください。また、指導教官(教員)の方々にもぜひご勧誘くださるようお願い申し上げます。

〈応募要領〉

1. 応募資格 1998年3月に学部を卒業、あるいは修士課程を修了する会員で、ひきつづき学生会員あるいは正会員である者。
2. 応募手続
 - (1)提出書類 ①論文要約(A4判で3枚以内)2部
②学生会員である指導教官(教員)の推薦状1部(推薦状は学会所定の用紙としますので、学会事務局宛ご請求ください)
 - (2)提出先 日本OR学会 表彰委員会
 - (3)応募締切 3月31日(必着)
3. 表彰 受賞者には、OR学会研究発表会その他適当な機会に賞牌を授与するとともに、受賞論文の要約をOR誌に掲載して表彰する。
4. その他 選考過程で第1次の受賞候補論文となったものについてはその全文のコピーとOR誌掲載用の論文要約(学会指定)を各3部提出しなければならない。

●平成10年度通常総会

日時：4月24日(金) 15:00~17:00

会場：学士会分館(赤門)

{営団地下鉄丸の内線本郷三丁目下車}

●平成9年度第2回ORセミナー

「意思決定手法AHPの実用の新ステップへ—新しい方法ANPと最近の応用例、ソフトの紹介」

セミナーのねらいと参加のおすすめ

かなり広く利用されて来ている階層化意思決定法AHPの、最近の発展を知るとともに、応用のための知識を新たにしようというねらい。まず、はじめてAHPを聞く方でも参加できるようにAHPの概説をします。次に要素間で従属的な関係がある場合を扱うようにしたAnalytical Network Processという方法を展望します。その後AHPの最近の適用例や、日米の代表的なWindows対応のソフトの紹介をして、広く皆様に使っていただけるように考えたセミナーとします。

日時：1998年3月2日(月) 9:30~17:00

会場：東京ガス(株) 本社 1307会議室

(〒105 港区海岸1-5-20 Tel. 03(3433)2111)

(JR・モノレール浜松町駅南口下車徒歩5分 地下鉄都営浅草線大門駅下車徒歩10分)

オーガナイザー：真鍋龍太郎(文教大学)

講師：高橋啓郎(日本大学)、真鍋龍太郎(文教大学)、八巻直一(静岡大学)、木下栄蔵(名城大学)

プログラム：

「イントロダクション」

「AHPの新しい展開—ANP」

「AHPの最近の発展経過とその利用の実際」

「グループ評価による人事評価への適用」

「AHPを実際に使うためのソフトウェア」

参加費：正・賛助会員25,000円、学生会員5,000円、非会員30,000円(協賛学協会の会員は正会員に同じ)

申し込み方法：別添とじ込みをご利用いただくか、OR学会事務局に参加申込書をご請求ください。

Tel. 03(3815)3351 Fax. 03(3815)3352

協賛(依頼中)：経営情報学会、計測自動制御学会、情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本応用数理学会、日本機械学会、日本経営工学学会、日本建築学会、日本統計学会、日本品質管理学会

●平成10年度春季研究発表会

日 程：平成10年5月27日(水)～28日(木) 研究発表
会 29日(金)見学会(計画中) 5月27日(水)懇親会
場 所：仙台市青年文化センター(仙台市青葉区旭ヶ
丘3丁目27-5)

特別テーマ：「身のまわりのORとOR教育」

平成10年度春季研究発表会は、仙台市青年文化センターを会場に開催いたします。会場は仙台駅から地下鉄で約10分、台の原森林公園に隣接した大変自然豊かな環境に恵まれた所です。

さて、このたび我がOR学会もめでたく創立40周年を経て、ますますの発展が期待されております。そこで今回の研究発表会では、OR活動のさらなる普及・発展を願い、特別テーマを「身のまわりのORとOR教育」と設定しました。身近な話題や研究ならびに教育体験等を題材に、これからのORについて活発に議論したいと思っております。

会場の都合等により、今回新しい試みとして、研究発表の約半数をペーパーフェア形式の研究発表とすることにいたしました。そして従来のようにペーパーフェア研究発表だけの時間帯を設けるのではなく、2つのセッション(場合によっては3つのセッション)をペーパーフェア形式による研究発表として、一般研究発表と並行して同時進行させます。つまり「セッション丸ごとペーパーフェア」です。このペーパーフェア研究発表会場には、会員談話室を兼ねた、広い交流ホールを用意しました。お茶を片手にブースをひとつひとつ聞くこともできるし、研究発表を話題にじっくり議論もできます。多数の参加、研究発表を楽しみにしております。(どのセッションをペーパーフェア研究発表形式にするかは、プログラム作成時に決定いたします。発表者の方には確定次第ご連絡いたします。)

実行委員長：松田泰(東北支部長、東北電力)

参加費：正・賛助会員6,000円、学生会員2,000円、非会員10,000円

登壇料：非会員のみ2,000円/件(本学会の許可が必要)

特別講演：5月27日(水)、28日(木)(計画中)

懇親会：5月27日(水) 18時(予定)より 参加費
6,000円

見学会：5月29日(金) (計画中)

問合せ先：

★〒980-77 仙台市青葉区川内

東北大学経済学部 安田一彦(プログラム委員)

Fax. 022 (217) 6321 Tel. 022 (217) 6296

E-mail : yasuda@econ.tohoku.ac.jp

★〒020 盛岡市上田3-18-34

岩手大学人文社会科学部 石川明彦(実行副委員長)

Fax. 019 (621) 6810 Tel. 019 (621) 6806

E-mail : ishiaki@msv.cc.iwate-u.ac.jp

●平成10年度秋季研究発表会

日 程：平成10年10月15日(木)～16日(金)

場 所：日本大会館

〒102 千代田区九段南4-8-24

(市ヶ谷駅から徒歩3分)

実行委員長：高橋馨郎(日本大学生産工学部)

実行副委員長：大沢慶吉(日本大学生産工学部)

●研究部会・グループ開催案内

〔高度情報化社会における交通・流通〕

・第33回

日 時：2月20日(金) 18:00～20:00

場 所：東洋経済新報社ビル(日本橋)

テーマと講師：「情報インフラによる交通システムの革新」

野末尚次(鉄道総合技術研究所技師長)

問合せ先：工学院大学 八戸英夫

Tel.03(3342)1211 内線2423

E-mail : at79114@ns.kogakuin.ac.jp

〔システムの最適化とOR〕

日 時：2月20日(金) 14:00～17:00

場 所：富山商船高等専門学校 福利施設「奈呉の浦
会館」多目的集会室

(富山県新湊市海老江練合1-2 Tel.0766(86)
5112)

(富山駅前から「新港東口」行きバスに乗り、「練合」
下車、徒歩2分)

テーマと講師：

(1)「船舶操縦シミュレーション・シミュレータにおける未解決の課題等について」

遠藤 真(富山商船高等専門学校)

(2)「Nonpreemptive Flowshop Scheduling with
Machine Dominance」

Ondrej Cepek(Charles University), 岡田政則
(金沢学院大学), Milan Vlach(北陸先端科学技
術大学院大学)

研修集会終了後、懇親会を行う予定です。申し込み

は研究会当日にお願いします。会費は4,000円程度。

問合せ先:

富山商船高等専門学校 成瀬喜則
Tel.0766(86)5212 Fax.0766(86)5110
金沢大学経済学部 前田 隆
Tel.076(264)5409 Fax.076(264)5444

〔評価のOR〕

・第8回

日時: 2月21日(土) 13:30~16:00

場所: 成蹊大学資料館(吉祥寺駅下車, バス成蹊学園前下車, 正門を入れて右側, 守衛所のすぐ先, 吉祥寺駅より徒歩20分), 大会議室

テーマと講師: 学生大会(5件)を行います。

—学生大会—

(1)「効率性評価に関連する諸検討」

金子修, 喜多敬直, 染谷直孝, 角田吉宏(成蹊大学)

(2)「CATV 関連特性の効用評価」

筒井哲也(成蹊大学)

(3)「非効率的な公益組織体の最適改善方策」

武田朗子(慶応大学)

(4)「評価者の意向を加味したDEAの一提案 — 入出力項目に対する重要度の決定 —」

佐藤俊索(東京理科大学)

(5)「DEAにおける時系列データを用いた業界の経営変化測定法の提案」田口 勲(東京理科大学)

問合せ先: NTTマルチメディアネットワーク研究所

篠原 正明

Tel. 0442(59)2495 Fax. 0422(59)2829

E-mail: sinohara@hashi.tnl.ntt.co.jp

●会合案内

〔第175回新宿 OR 研究会〕

日時: 2月17日(火) 12:00~13:30

場所: 東天紅(新宿センタービル53F)

テーマ: 「環境問題の現状とその政策」

講師: 小池 清氏(キックス総研代表取締役・OR学会フェロー)

参加費: 3,000円

〔第55回丸の内 OR 研究会〕

日時: 2月9日(月) 18:30~21:00

場所: 学士会館(神田錦町3-28)

テーマ: 「今後の地球温暖化防止戦略—京都会議の成果を踏まえて—」

講師: 岡本憲之氏(三菱総合研究所地球環境研究センター取締役センター長)

参加費: 丸の内 OR 研究会会員(無料)

非会員(4,000円)当日受付でお支払いください。ただし, 参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先: トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生

Tel.03(3457)6745

●第8回RAMPセミナー

数理計画法研究会(Research Association of Mathematical Programming: RAMP)では, 平成10年3月30日・31日の2日間, 第8回RAMPセミナーを実施します。このセミナーは, 数理計画の話題の中から興味深いテーマを学習することを目的として, 1泊2日の日程で毎年春に開催しているものです。対象者は, 企業の若手の方々, および大学院修士課程, 新4年次の学生です。今回のテーマはネットワーク理論を中心に基礎, 展開, 応用です。比較的基本的な内容に焦点を当てて, 講師の方々に丁寧に解説していただきます。宿泊: 懇親会も同じ会場ですので, 多くの方々の参加をお待ちしております。

日時: 平成10年3月30日(月) 14:00~17:00

31日(火) 8:30~12:45

会場: 福島ビューホテル Tel.024(531)1111

住所: 〒960-8068 福島市太田13-73(JR 東北新幹線福島駅西口正面)

参加定員: 60名(一般40名, 学生20名)

参加費: 一般18,000円 学生10,000円(テキスト代・懇親会費を含む)

旅費補助: 遠方から参加するOR学会学生会員には, 旅費の一部を補助します。

申込方法: 氏名, 所属, 連絡先住所, FAX番号, 電子メールアドレスを明記の上, 電子メールかFAXか郵送で事務局まで申し込んでください。なお, 参加費の銀行振込を希望される方は下記へお願いします。

東邦銀行 本店営業部 普通預金口座

店番号: 101 口座番号: 2610082

名義: 第8回RAMPセミナー事務局

申込締切: 3月9日(月)

事務局: 実行委員長 中山 明

(福島大学行政社会学部: 〒960-1296 福島市松川町浅川字直道2)

Tel.024(548)8262 Fax.024(548)5174

E-mail : nakayama@gl.ads.fukushima-u.ac.jp
 URL : http://mac.ads.fukushima-u.ac.jp/ramp
 semi/program.html

プログラム (ネットワーク理論)

3月30日(月)セッション1 [ネットワーク理論:基礎]
 14:00~17:00

- ネットワーク理論の基礎** 繁野麻衣子 (筑波大学)
- 内容: 1. アルゴリズムの評価, NP-困難な問題, グラフの探索.
 2. 最短路問題
 3. 最大流問題: 最大流最小カット定理, マッチング, プリフロープッシュ法など.
 4. 最小費用流問題: 輸送問題, 割当問題も紹介.
 5. その他: 最小カット問題, 連結度増加問題など.

17:30~19:30 懇親会

3月31日(火)セッション2 [ネットワーク理論:展開と応用]

8:30~10:30

- ネットワーク理論の展開** 岩田 覚 (大阪大学)
- 内容: 1. マトロイド: 最小木問題, 貪欲算法, 双対マトロイド.
 2. 劣モジュラ関数: 基多面体, 劣モジュラ流問題, Lucchesi-Younger の定理.

10:45~12:45

- ネットワーク理論の応用** 伊藤大雄 (豊橋技術科学大学)
- 内容: 1. 通信網設計と連結度: マルチメディア網と領域グラフ, 関連アルゴリズム.
 2. 無線通信局配置と彩色問題: 配置問題と彩色問題の関係, 四色問題, アルゴリズム.
 3. VLSI 設計とグラフへの埋め込み: Kuratowski の定理, Hopcroft-Tarjan のアルゴリズム.
 4. スケジューリング問題: 関連問題とアルゴリズム.

●**IFORS99推薦論文公募のお知らせ**

IFORS99が1999年8月16日から8月20日にかけて中国, 北京の Friendship Hotel にて開催されます. OR学会としましては, IFORS99において発表予定のわが国からの論文2編を National contribution とし推薦する予定です. つきましては, この推薦論文2

編を公募いたします. 6月末日までに発表論文の題目, 発表者, アブストラクトを当学会国際委員会までお送りください. なお論文発表に際しては, 当学会から渡航費等の援助がないことをご了承ください.

●**国際会議案内**

•The 11th ITC (International Teletraffic Congress) Specialists Seminar (第11回 ITC セミナー) (協賛)

日 時: 1998年10月27日(火)~29日(木)

会 場: 横浜シンポジア (横浜)

論文提出締切: 1998年4月30日(木)

採否の通知期限: 1998年7月1日(水)

問合せ先: NTT アドバンステクノロジー(株)川島幸之助
 Fax.0422-37-8118

E-mail : shima@annex.ntt-at.co.jp

ホームページ http://www.convention.co.jp/itc/

•Workshop on Intelligence Techniques in Operations Research (ISORA'98)

日 程: 1998年6月13日~16日

場 所: ハルビン (中国)

主 催: 中国 OR 学会・Asian-Pacific OR Center

問合せ先: Prof. Yingjun FENG

Applied Mathematics Research Institute

Harbin Institute of Technology

Harbin, Heilongjiang, 150001, China

Fax : 86-451-6221048

アブストラクト提出期限: 1998年3月15日 (上記宛)

●**助成案内**

•(財)大川情報通信基金 平成10年度研究助成募集

助成対象分野: 情報・通信に関する研究・調査

助成対象: 情報・通信に関する研究機関, 教育機関における研究者

助成金: 1件100万円

応募締切: 3月15日(日)

問合せ先: 財団法人 大川情報通信基金事務局

〒163-0227 新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル
 27階

(株)CSK 内 Tel.03(5321)3958 Fax.03(5321)
 3959

E-mail : OOKAWAKIKIN_KD@cii.csk.co.jp

http://www.csk.co.jp/tof/fdnj000.html